

平成 30 年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

令和元年 5 月 16 日

代表者 風 間 文 明

| | |
|---|-----------------------------------|
| 研究課題名 | 若年就労者の職場適応を規定する在学中の要因 |
| 研究期間 | 平成 30 年 6 月 14 日～平成 31 年 3 月 31 日 |
| 共同研究者 | 山下 倫実 |
| 1. 今年度の研究概要 | |
| <p>本研究は、2015・2016・2017 年度プロジェクト研究「女子大学生の進路決定とキャリア形成に関わる要因の検討」の継続研究である。青年期にある女子大学生がどのように進路を決めていくのかについて、その規定因と進路決定プロセスを明らかにするとともに、進路決定の確信度や就職活動中、就職前の対人的なサポート、ストレスなどが入職後の職場適応にどのように影響を与えるかを明らかにすることを目的としている。これまで 2015 年度に大学 3 年生を対象に第 1 調査を行って以来、2017 年度（2018.3）までに就職活動前、就職活動中、就職活動後、就職直前、入職 1 年後の計 5 回の縦断的調査を実施してきた。</p> <p>主要な結果として(1)自己効力感、役割占有感が高い方が進路決定の確信度が高まること、(2)就職支援課と教員は就職活動前の学生にとって補完し合うような異なるサポート機能を果たしていること、(3)就職活動前に確信を持って進路を決めている方が活動中のストレスが低減されること、(3)就職活動中のストレスは就職直前の就職不安を高めるが、一方で活動中の役割占有感が高いと就職不安は低減されること、などが示されている。</p> <p>以上の研究結果を受けて 2018 年度には、(1)第 5 調査並びに第 4 調査までのデータと連結したデータを分析し、大学時代の進路選択や就職活動中への取り組み方が職場適応に与える影響を検討する。(2)これまでの研究結果の妥当性を確認するために、学生が実際にどのように就職活動に取り組んでいるか、自己効力感や役割占有感を高める活動としてどのようなことに取り組んでいるのかなど就職活動の実態について聞き取り調査を実施する。(3)研究成果に基づき、大学におけるキャリア支援体制、就職活動中の大学生への適切なサポートのあり方に関する提言を報告書等にまとめ、調査対象者である卒業生に送付するとともに本学 3 年生を対象に結果報告会を開催する。</p> | |
| 2. 研究の成果 | |
| <p>(1)第 5 調査並びに第 4 調査までとの連結データの分析：第 5 調査の結果からは、職場適応感と職場満足感が高いほど人生満足度が高いこと、上司と先輩からの情緒的サポート、道具的サポートが多いほど職場適応感が高いこと等が示された。また第 4 調査との連結データの結果からは、就職直前の不安が高いと入職後の職場適応が阻害されることが示され、卒業前の大学生に対して就職不安を低減させる働きかけの必要性が示唆された。(2)聞き取り調査：就職を決めた 4 年生 4 名を対象に実施した。就職活動においては、就職課、教員など大学のリソースが活用され、親や友人はサポート源として機能しないこと、就職前に社会人としてのマナーや心得などについて講習があるとよいことなど調査結果を裏付けるような回答が得られた一方で、確たる希望進路を決めずに就職活動に臨んでもスムーズに活動を終わることができたことなど調査結果とは異なる回答も得られた。今後、実態と研究結果の知見との整合性をさらに検討していく必要がある。(3)報告書の作成と報告会の実施：研究成果をまとめ、これから就職活動を迎える学生と学生を支援する周囲の人たちへの提言を盛り込んだ報告書を作成した。調査協力を得た 117 名の卒業生に送付した。また本学科 3 年生を対象に報告会を開催し、53 名の学生が出席した。事後アンケートの結果から「役に立った」という回答が多く得られ（5 点満点中平均 4.09）、学生にとって有用な情報提供の場となった。</p> | |

3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）

【学会発表】

風間文明・山下倫実(2018).若年就労者の職場適応を規定する在学中の要因(1)－就職不安と職場における効力期待が就職前の高揚感に及ぼす影響－ 日本教育心理学会第60回総会発表論文集,240.

山下倫実・風間文明(2018).若年就労者の職場適応を規定する在学中の要因(2)－就職決定後の情緒的 SP が就職に関する不安及び入職後の希望に及ぼす影響－ 日本教育心理学会第60回総会発表論文集,241.

風間文明・山下倫実(2018).若年就労者の職場適応を規定する在学中の要因(3)－就職活動中のストレス、自己効力感、役割占有感が就職前の不安に及ぼす影響－ 日本社会心理学会第59回大会発表論文集,208.

山下倫実・風間文明(2018).「若年就労者の職場適応を規定する在学中の要因(4)－就職決定後に抱く入職後の希望が就職直前の不安に及ぼす影響－」日本心理学会第82回大会発表論文集

山下倫実・風間文明(2018).「若年就労者の職場適応を規定する要因(5)－就職不安とソーシャル・サポートが就職前の高揚感に及ぼす－」日本グループダイナミクス学会第65回大会発表論文集,124-125.

【研究会発表】

① SOSP 研究会発表（2018年12月22日）「女子大学生の就職先決定過程の分析」（発表者：風間文明）

【その他】

2015～2018年度十文字学園女子大学プロジェクト研究成果報告書「女子大学生の進路決定とキャリア形成に関わる要因の検討」（別添）

【今後の発表予定】令和元年度日本教育心理学会第61回総会（2019年9月14日～16日：日本大学）、令和元年度日本社会心理学会第60回大会（2019年11月9日～10日：立正大学）、令和元年度日本グループダイナミクス学会第66回大会（2019年10月19日～20日：富山大学）において発表予定である。発表方法はポスターを予定している。また本学紀要にも論文を投稿する予定である。